

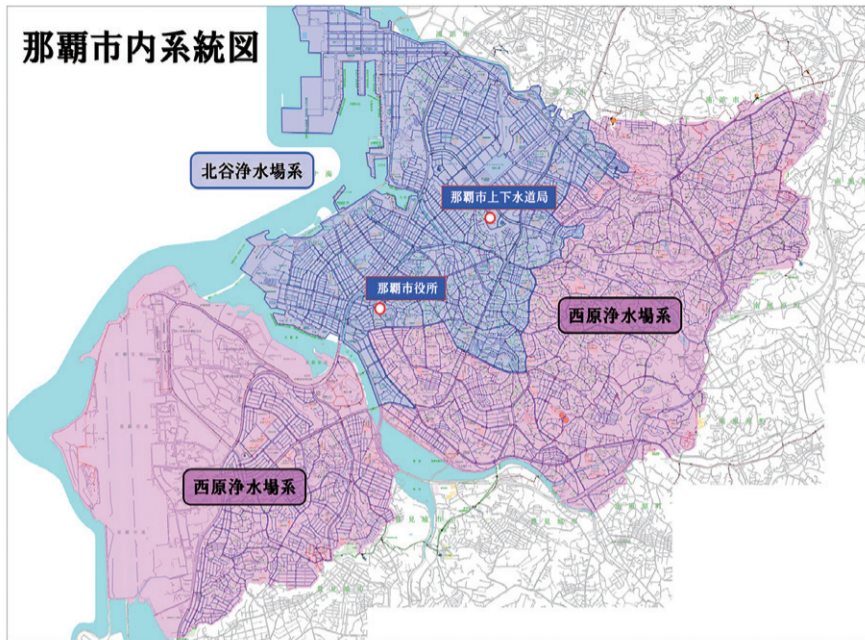


北谷浄水場における有機フッ素化合物の検出状況に関するお知らせ

那覇市の水道水は水道用水供給事業者である沖縄県企業局の西原浄水場および北谷浄水場から送水されています。北谷浄水場の水源地の一部において、有機フッ素化合物の一種であるPFOS（ピーホス）、PFOA（ピーホア）およびPFHxS（ピーエフヘクスエス）が検出されたことについてお知らせします。

北谷浄水場における浄水中の有機フッ素化合物の測定結果は、平成30年度において平均で29 ng/Lとなっており、米国勧告値70 ng/Lを下回っていることから、那覇市の水道水の安全性は確保されています。

なお、沖縄県企業局では、有機フッ素化合物の測定結果について、県企業局ホームページ上で随時公開しています。この県企業局ホームページへは、那覇市上下水道局ホームページの「トピックス：沖縄県企業局における有機フッ素化合物の検出状況」からもリンクできるようにしています。



那覇市に水道水を供給する沖縄県企業局では、米国環境保護庁の生涯健康勧告値である70 ng/L（PFOSとPFOAの合計）を浄水場の管理基準として用い、水質管理・浄水処理を行っています。この生涯健康勧告値とは、人が生涯にわたって飲用した場合にも健康に影響が出ないことを考慮して設定されています。

有機フッ素化合物の除去については、吸着効果のある活性炭処理が有効であることから、沖縄県企業局の北谷浄水場においては、この活性炭処理を行い、有機フッ素化合物を低減化しています。

■主な国におけるPFOS、PFOAの飲料水に関する目標値※

	PFOS	PFOA	備考
米国	70 ng/L	70 ng/L	PFOS、PFOAの合計(2016年設定)
ドイツ	300 ng/L	300 ng/L	(2006年)
英国	300 ng/L	10000 ng/L	(2010年)
オーストラリア	70 ng/L	560 ng/L	PFOSについては、PFHxSとの合計(2017年)

※令和元年度第1回水質基準逐次改正検討会（7月2日）資料より

現在、この有機フッ素化合物については、日本国内において水道水の水質基準となる値は定められていません。また、世界保健機関（WHO）においてもガイドラインは設定されていません。

しかし、近年、有機フッ素化合物に関する知見が集まってきたことや、各国の機関において目標値を設定する動きがあることをふまえ、7月2日に開催された厚生労働省の水質基準逐次改正検討会において、浄水場における水質管理を適切に行うという観点から、PFOS、PFOAについて暫定目標値を設定するという方針を決めています。

お問い合わせ 配水課配水係 TEL:941-7806

デザイン蓋発祥地のマンホールカード配布中!

マンホールカードとは?

マンホールカードとは、下水道に興味をもっていただくことを目的とした「カード型下水道広報ツール」であり、表にはマンホール蓋の写真や位置情報など、裏にはマンホール蓋デザインの由来などが載っております。

那覇市のカードに掲載されているマンホール蓋は「下水道によりきれいになった水の中で、魚達(ガーラ)が喜び群れ遊ぶ様」をイメージしたものであり、全国の自治体における第1号のデザイン蓋とされています。

配布場所

①平日:那覇市上下水道局(那覇市おもろまち1-1-1 2階)

午前8時30分から
午後5時15分まで

②土・日・祝日:

一般社団法人 那覇市観光協会「ショップなは」(那覇市牧志3-2-10 てんぶす那覇1階)

午前10時00分から
午後6時00分まで

(カードの配布はお1人さま1枚までとなります。)



お問い合わせ 下水道課計画係 TEL:941-7808

～漏水の発見にご協力を～

公道漏水について

上下水道局では資源の有効利用に資するため、日々漏水防止に努めておりますが、地上に湧き出るような漏水ともなると、道路陥没などの2次災害の原因ともなりえます。

このようなことから、お住まいの近くにおいて次のような状況が見られましたら、上下水道局までご一報ください。

【見分け方】



① 普段は乾いている道路の写真

② 漏水により濡れている写真

※普段は乾いている道路で、雨が数日も降らないのに水が湧き出ている場合以上の状況等が見られましたら、水道管理課までご一報ください。

お問い合わせ 水道管理課漏水防止係 TEL:941-7805